

注3

大学番号：005

[平成27年度設置]

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

認可

鈴鹿大学短期大学部 生活コミュニケーション学科

注1・2

【認可】大学の収容定員変更に係る設置計画履行状況報告書

学校法人享栄学園
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 学生支援課長 ツツミ ヒデノリ 堤 秀紀

電話番号 059-372-3921

（夜間） 059-372-3921

F A X 059-372-3935

e-mail kyomu@m.suzuka-iu.ac.jp

- (注) 1 対象学部等が複数ある場合は、すべての対象学部等を記載してください。
- 2 定員変更時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部 (平成◇◇年度より学部名称変更))
- 3 大学番号の欄については、事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について (依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

鈴鹿学部短期大学部

<生活コミュニケーション学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 施設・設備の整備状況、経費	5
3. 既設大学等の状況	6
4. 教員組織の状況	7
5. 留意事項等に対する履行状況等	8
6. その他全般的事項	9

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人享栄学園

(2) 大学名

鈴鹿大学短期大学部

(3) 大学の位置

〒510-0298
三重県鈴鹿市郡山町663-222

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カキオ カズヒコ) 垣尾 和彦 (平成25年4月)		
学長	(イズモ トシヒコ) 出雲 敏彦 (平成25年4月)	(イチノ ショウジ) 市野 聖治 (平成27年4月)	任期満了に伴う変更 平成27年4月1日 (27)
学部長			
学科長等	(カワマタ トシノリ) 川又 俊則 (平成21年4月)	(ウメハラ ヨリコ) 梅原 頼子 (平成28年4月)	辞任に伴う変更 平成28年4月1日 (28)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科等, 定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表
を追加してください。
・ 様式は, 平成28年度定員変更の4年制の学科の場合ですが, 変更年度・修業年限に合わせて
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
鈴鹿学部 短期大学部 こども学専攻 短期大学士 (生活学)	2 年	90 人	0 年次 人	180 人	変更前: 入学定員70人

- (注) ・ 認可後さらに定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで
記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	70人 (-) [-]	人	70人 (-) [-]	人	90人 (-) [-]	人	90人 (-) [-]	人	0.94倍	
志願者数	95 (-) [-]	- (-) [-]	80 (-) [-]	- (-) [-]	91 (-) [-]	- (-) [-]	69 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	95 (-) [-]	- (-) [-]	78 (-) [-]	- (-) [-]	91 (-) [-]	- (-) [-]	69 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	80 (-) [-]	- (-) [-]	78 (-) [-]	- (-) [-]	90 (-) [-]	- (-) [-]	69 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	79 (-) [-]	- (-) [-]	73 (-) [-]	- (-) [-]	86 (-) [-]	- (-) [-]	65 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.13		1.04		0.96		0.72			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。
なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] (0) 79	[-] (-) -	[0] (0) 73	[-] (-) -	[0] (0) 86	[-] (-) -	[0] (0) 65	[-] (-) -	こども学専攻
2年次	[0] (8) 75	[-] (-) -	[0] (4) 79	[-] (-) -	[0] (2) 75	[-] (-) -	[0] (1) 83	[-] (-) -	
3年次	[/] ()	[/] ()	[/] ()	[/] ()	[/] ()	[/] ()	[/] ()	[/] ()	
4年次	[/] ()	[/] ()	[/] ()	[/] ()	[/] ()	[/] ()	[/] ()	[/] ()	
計	[0] (8) 154	[-] (-)	[0] (4) 152	[-] (-)	[0] (2) 161	[-] (-)	[0] (1) 148	[-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	79 人	7 6 人	平成25年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(3人)	8.9 %
			平成26年度	3 -2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人) 就職(1人)	
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	73 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人		
平成27年度 入学者	86 人	4 -0 人	平成27年度	4 -0 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人) その他(2人)	4.8 %
			平成28年度	0 人	0 人		
平成28年度 入学者	65 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	303 人	11 人					3.6 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	鈴鹿大学と校地等を共用		
	校舎敷地	0㎡	50,302㎡	0㎡	50,302㎡			
	運動場用地	0㎡	17,175㎡	0㎡	17,175㎡			
	小 計	0㎡	67,477㎡	0㎡	67,477㎡			
	そ の 他	0㎡	15,655㎡	0㎡	15,655㎡			
	合 計	0㎡	83,132㎡	0㎡	83,132㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	鈴鹿大学と校舎共用			
	1084.02㎡ (1084.02㎡)	6912.54㎡ (6912.54㎡)	3244.17㎡ (3244.17㎡)	11,240.73㎡ (11,240.73㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	7室	9室	15室	3室 (補助職員 人)	2室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	短期大学部 生活コミュニケーション学科こども学専攻			26 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本		
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種				電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	
	大学全体	32,799 [1,684] (32,799 [1,684])	312 [0] (312 [0])	0 [0] (0 [0])	488 (488)	0 (0)	0 (0)	
	計	32,799 [1,684] (32,799 [1,684])	312 [0] (312 [0])	0 [0] (0 [0])	488 (488)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
	1331.44㎡		230	16.2万冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	1,745.00㎡		グラウンド 1 面 テニスコート 3 面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	120千円	120千円	図書購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	1,400千円	1,400千円	1,400千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		1,050千円	800千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		入学検定料、私立大学経常費補助金等						

- (注) ・ 変更時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	鈴鹿大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
国際人間科学部 国際学科	4	100	3年次 10	420	学士 (国際学)	1.01	平成27年	三重県鈴鹿市郡山町663-222	
国際人間科学部 国際学科	4	—	—	—	学士 (国際学)	—	平成6年	三重県鈴鹿市郡山町663-222	平成27年学生募集停止
国際人間科学部 観光学科	4	—	—	—	学士 (観光学)	—	平成13年	同上	平成24年学生募集停止
国際学研究科 国際社会専攻	2	10	—	20	修士 (国際学)	1.05	平成10年	三重県鈴鹿市郡山町663-222	
大学の名称	鈴鹿大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
生活コミュニケーション学科 生活コミュニケーション学専攻	2	40	—	80	短期大学士 (生活学)	0.71	昭和41年	三重県鈴鹿市郡山町663-222	
食物栄養学専攻	2	40	—	80	短期大学士 (生活学)	1.08	昭和42年	同上	
こども学専攻	2	90	—	180	短期大学士 (生活学)	0.83	平成27年	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<生活コミュニケーション学科>

(1) 専任教員数等

(2) -① 専任教員数

定員変更時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
8	5	0	13	26	9	6	0	10	25	9	6	0	10	25
(8)	(5)	(0)	(13)	(26)						[1]	[1]	[]	[Δ3]	[Δ1]

- (注) ・「定員変更時の計画」には、変更時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に定員変更時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	4 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入

(2) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教		育児休業を取得後、他の職場に転職。(28)
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。

(3) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員の辞任に伴う担当科目は、他の専任教員が担当するため、学生の履修等への影響はないと考える。また、学生への周知等は、シラバス等により変更後の教員を周知している。
--

- (注) ・ 上記（2）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (H27年4月)	<p>・過去の入学志願者数等が示されており、定員を増加した場合でも一定の学生確保の見通しがあるということは認められる。一方で、アンケート調査の結果から163人の入学希望者が存在すると分析している点については、資料としてアンケート回答者の回答票そのものが添付されているのみで、具体的分析方法がやや不明確であるなど、導きだされた結果との関係が必ずしも明らかではない部分もある。したがって、さらに精緻な分析を行うなどして、設定した定員の確保に活用できるように努めること。</p> <p>・生活コミュニケーション学科生活コミュニケーション学専攻、鈴鹿国際大学国際人間科学部国際学科の定員未充足の是正に努めること。</p>	<p>留意事項</p> <p>＜こども学専攻＞ 集計したアンケート結果で得た入学希望者163名をこども学専攻の入学定員90名確保のため、アンケートで得た名前と所属学校（高等学校）を基に、高等学校の進路担当者への訪問、本人へのオープンキャンパス・専攻特別イベント等の情報提供などを通じ、本学の魅力を伝え他大学・短期大学を第1、2希望とする学生を本学に入学して貰うよう努力した。 また、短期大学部最終入試実施については、定員確保に向け県内高等学校進路担当者へ早期段階で情報提供を行った。アンケート結果、入学希望者163名からの入学者は最終的に41名（25%）であった。また、アンケート調査以外からの入学者は45名であった。（27） 「入試広報キャリア委員会」と情報の発信を積極的に行うため新たな「情報広報委員会」を設置した。各委員会の役割を明確にし、受験生に対し電子媒体を活用する効果的な募集活動を行った。平成28年度の入学者数は65名となり、定員充足率は、0.82%である。（28）</p> <p>＜生活コミュニケーション学専攻＞ 専攻の魅力を広く伝えるために、教職員による高校訪問やオープンキャンパスを前年度より多く行った。短期大学部ブログや生活コミュニケーション学専攻通信を通じてWeb上でも発信した。その結果、入学定員40名のところ、前年度24名入学から2割増の30人の入学者となった。（27） 「入試広報キャリア委員会」と情報の発信を積極的に行うため新たな「情報広報委員会」を設置した。各委員会の役割を明確にし、受験生に対し電子媒体を活用する効果的な募集活動を行った。平成28年度の入学者数は27名となり、定員充足率は、0.74%である。（28）</p> <p>＜鈴鹿大学国際人間科学部＞ 地域に貢献する人材をより輩出するために、鈴鹿学、モータースポーツマネジメント科目新設等、カリキュラムの大幅な改革を行い、新たに学部設置届出申請を行った。これらの改革を広く伝えるために、教職員による高校訪問やオープンキャンパスを前年度より多く行った。その結果、入学定員100名に対して77名の入学となった。（27） 高等学校や日本語学校の訪問時期を再検討し、電子媒体での広報に重点を置く学生募集活動を行った結果、117名の入学者となり、入学定員充足率は1.17%である。（28）</p>	<p>今後の入学定員確保のための努力項目である以下の事項についてもより改善し、本学の魅力を受験生に伝えていく事で本学入学希望者を増やし定員確保に努める。 ・進路説明会、オープンキャンパス等でのアンケート内容改善 ・高大連携を活用し、入学者増につなげる。（27）</p> <p>高大接続の拡大、コンソーシアム三重参加、鈴鹿市、鈴鹿商工会議所との更なる連携、カリキュラム改編により地域に貢献する人材を輩出する大学であることをさらに広く周知することで、定員充足を達成する。（27）</p> <p>生活コミュニケーション学専攻は、平成29年度に改組転換を行い、生活コミュニケーション学専攻の定員廃止及び他専攻の定員減に伴う鈴鹿大学への新学部設置を予定している。（28）</p> <p>平成31年度以降の学部名称変更を含めた教学改革を検討する。また、募集活動については、高校生に直接情報を届けることを目的に、ガイダンスへの参加回数を増加させるとともに、SNSを利用した広報活動を充実させる。（28）</p>

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の収容定員変更に係る学則変更の認可時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

6 その他全般的事項

< 鈴鹿大学短期大学部 生活コミュニケーション学科 こども学専攻 >

(1) 計画変更事項等

定員変更時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、計画の変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 変更時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）